



# マックス株式会社

2024年3月期第2四半期 決算説明会資料

発表日:2023年10月31日

## 出席者

代表取締役社長	小川 辰志
専務取締役 上席執行役員	角 芳尋
執行役員 経理部長	北谷 明雄
IR広報・ESG推進室長	須田 庸夫

# 目次

## 2024年3月期第2四半期 全社実績

1. 2024年3月期第2四半期 全社実績
2. 2020～24年3月期第2四半期 全社実績推移
3. 四半期別売上高推移
4. 営業利益の増減要因
5. その他の財務情報
6. 戦略的投資の実績
7. 経済指標

## 2024年3月期第2四半期 セグメント実績

8. 2024年3月期第2四半期 セグメント実績
9. 四半期別セグメント実績推移
10. インダストリアル機器部門 2024年3月期第2四半期実績
11. インダストリアル機器部門 四半期別売上高推移
12. オフィス機器部門 2024年3月期第2四半期実績
13. オフィス機器部門 四半期別売上高推移
14. HCR機器部門 2024年3月期第2四半期実績
15. HCR機器部門 四半期別売上高推移
16. 四半期別海外地域別売上高推移
17. 重点事業:鉄筋結束機事業の概況

## 2024年3月期 業績予想

18. 2024年3月期 全社計画
19. 2024年3月期 セグメント計画
20. 2024年3月期 サブセグメント(事業別)計画
21. 配当政策 1株当たり配当金
22. 配当政策 配当性向と純資産配当率
23. 統合報告書の発行

## 参考資料

24. 四半期別海外地域別セグメント売上高推移(北米)
25. 四半期別海外地域別セグメント売上高推移(欧州)
26. 四半期別海外地域別セグメント売上高推移(日本除くアジア)
27. 機工品事業及びオフィス事業の主な製品
28. 国内・海外機工品事業 製品内訳
29. 国内・海外オフィス事業 製品内訳

## 2024年3月期第2四半期 決算サマリ

- ・ 第2四半期累計として売上高、各利益ともに過去最高を更新。
- ・ 2024年3月期通期連結業績予想を修正し、ROEは10.1%を計画。
- ・ 配当予想を修正、計画から17円増配の1株当たり年間配当金95円を予定。

# 2024年3月期第2四半期 全社実績

# 2024年3月期第2四半期 全社実績

1

## ■為替レート

当期 1ドル 139.94円 / 1ユーロ 152.73円  
 前期 1ドル 131.58円 / 1ユーロ 138.20円  
 計画 1ドル 135.41円 / 1ユーロ 146.45円

(単位:百万円、%)

	当期実績	前期実績	増減率	上期計画※	達成率
売上高	42,920	41,963	+2.3	42,850	100.2
売上総利益	19,794	17,483	+13.2	—	—
同率	46.1	41.7		—	
営業利益	6,649	4,436	+49.9	6,250	106.4
同率	15.5	10.6		14.6	
経常利益	7,436	5,723	+29.9	6,260	118.8
同率	17.3	13.6		14.6	
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,587	4,129	+35.3	4,390	127.3
同率	13.0	9.8		10.2	
一株当たり四半期純利益	118.51	87.29	—	92.80	—

※2023年7月31日修正計画

# 2020~24年3月期第2四半期 全社実績推移

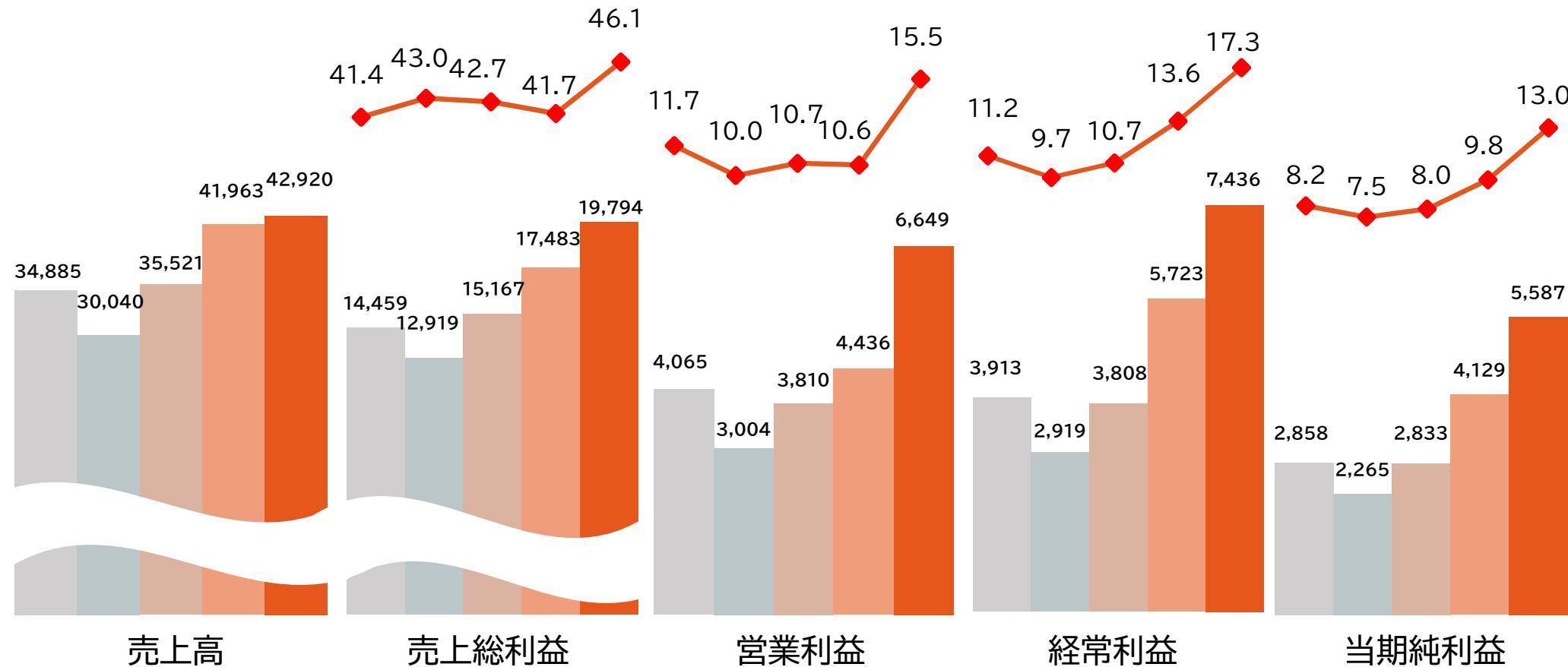
2

■ 2020年3月期2Q  
■ 2023年3月期2Q

■ 2021年3月期2Q  
■ 2024年3月期2Q

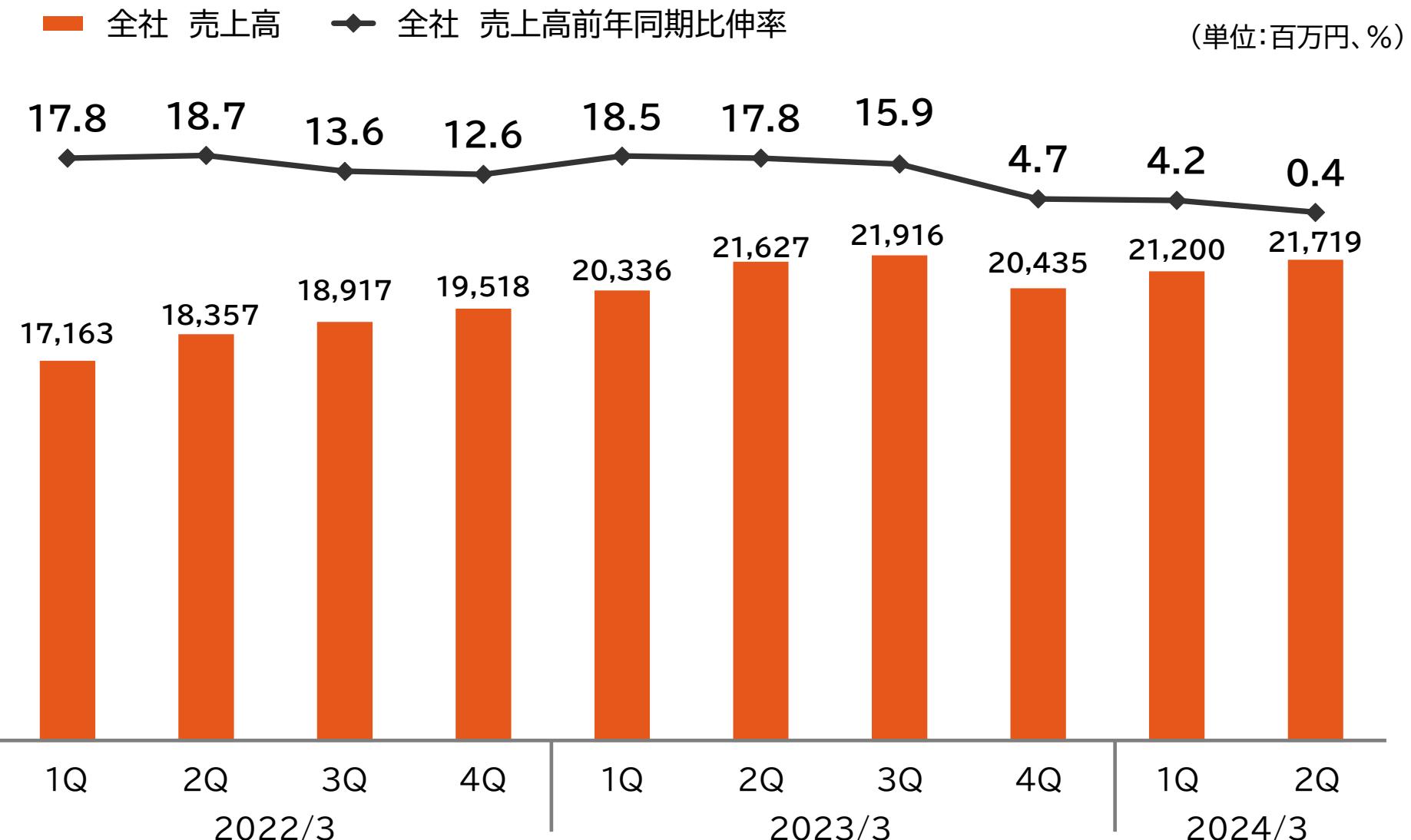
■ 2022年3月期2Q  
— 同率

(単位:百万円、%)



# 四半期別売上高推移

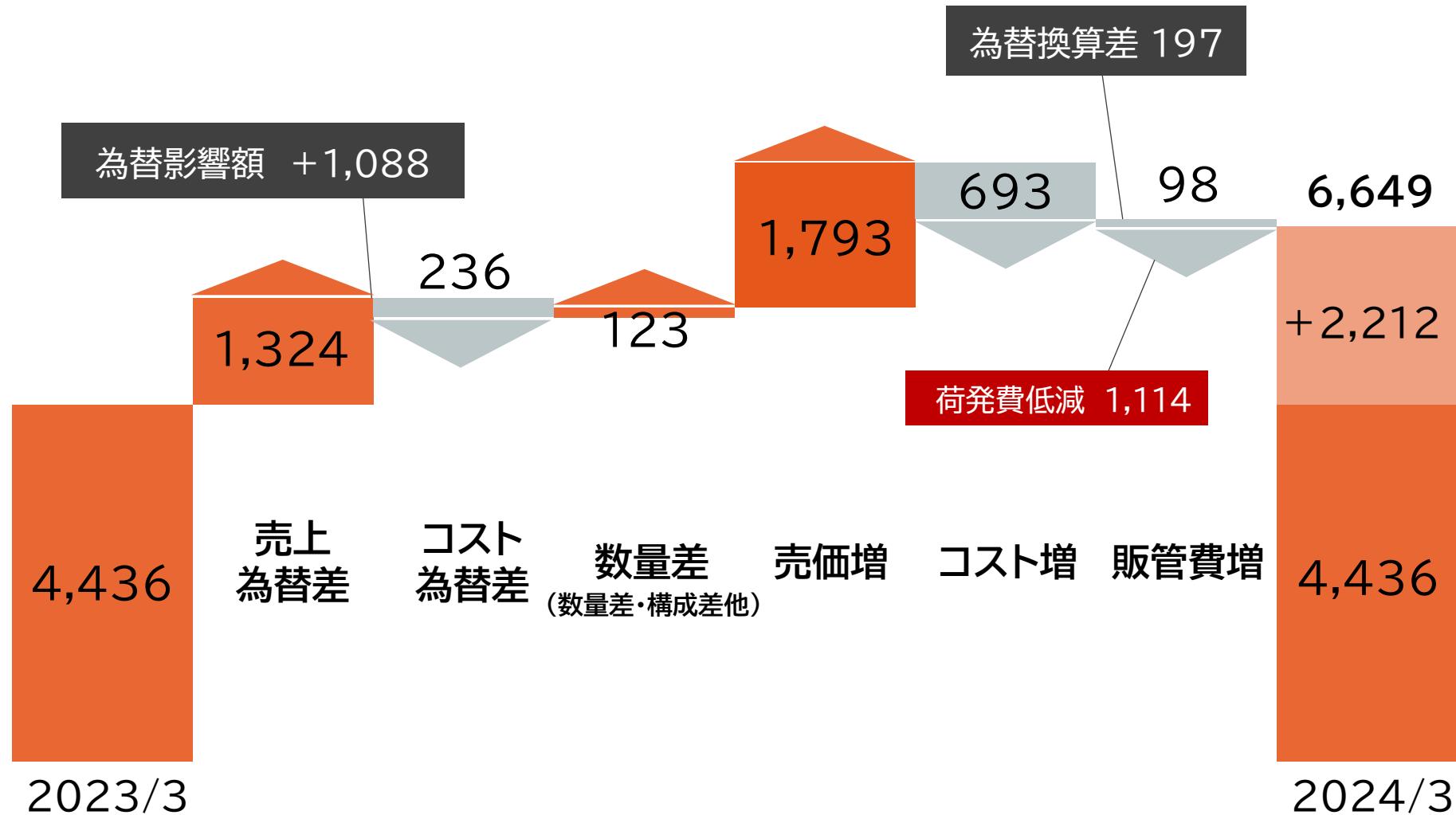
3



## 営業利益の増減要因

4

(単位:百万円)



## ■ 営業外収支と特別損益の実績

(単位:百万円)

	当期実績	前期実績	前年差
営業外収支	787	1,287	△499
営業外収益(為替除き)	237	206	+30
営業外費用(為替除き)	△46	△46	△0
為替差額	596	1,126	△530
特別損益	55	△ 27	+82
特別利益	69	13	+56
特別損失	△14	△ 40	+26

## ■ 設備投資、減価償却費、研究開発費の実績

(単位:百万円、%)

	当期実績	前期実績	当期年間計画	進捗率
設備投資	926	1,227	4,615	20.1
減価償却費	1,509	1,453	3,460	43.6
研究開発費	2,089	1,760	4,545	46.0

## 重点方針

重点事業の拡大と新規事業の創出への積極的な投資により、事業成長につなげる

## 中長期的な事業成長に向けた戦略的投資

3年間累計投資額  
(2022/3~24/3) 36億円

(単位:百万円、%)

	当期実績	当期年間計画	進捗率
営業インフラ投資	147	500	29.4
デジタル技術への投資	103	400	25.8
開発戦略投資	71	600	11.8
コーポレート・コミュニケーション投資他	2	100	2.0
合計	323	1,600	20.2

## 原材料価格や為替の変動が、企業収益に影響

### 国内

景気は緩やかな回復の動きが継続。  
当社インダストリアル機器部門に関連する新設住宅着工戸数は、持家が前年に対して低調であった一方で、賃貸は増加、分譲は横ばい。  
非居住建築物の着工床面積は前年から大きく減少。

### 海外

米国は、金利上昇の影響があるものの、住宅着工は足元で持ち直しの動きがみられ、商業ビルや高速道路など非住宅に対する建設投資も堅調に推移。  
欧州は、一部の地域で弱さがみられ、住宅市況の低迷など先行きに対する懸念が払拭できない状況が継続。

## ■ 参考指標

### 新設住宅着工戸数

- ・2023年1月～6月は前年比△2.2%  
(持家△10.5%、賃貸+2.5%、分譲△0.2%)  
→機工品事業(木造系)にマイナス影響

### 非居住建築物の着工床面積/建設技能労働者需給

- ・2022年10月～2023年3月は前年比△15.9%  
(事務所△32.7%、店舗+0.5%、工場+4.5%、倉庫△31.2%)
- ・建設技能労働者 鉄筋工(建築)の需給は、不足と過剰の繰り返し  
→機工品事業(コンクリート系)にマイナス影響

### 為替

- ・1ドル139.94円、1ユーロ152.73円  
(前年:1ドル131.58円、1ユーロ138.20円)
- ・売上為替感応度(年間換算) (※2024年3月期 計画値)  
米ドル200百万円、ユーロ90百万円
- ・営業利益為替感応度(年間換算) (※2024年3月期 計画値)  
米ドル50百万円、ユーロ90百万円

### 米国の新設住宅着工戸数

- ・2023年7月の年率換算値は145.1万戸、8月は126.9万戸、  
9月は135.8万戸  
(前年7月:137.1万戸、8月:150.5万戸、9月:146.3万戸)

# 2024年3月期第2四半期セグメント実績

# 2024年3月期第2四半期 セグメント実績

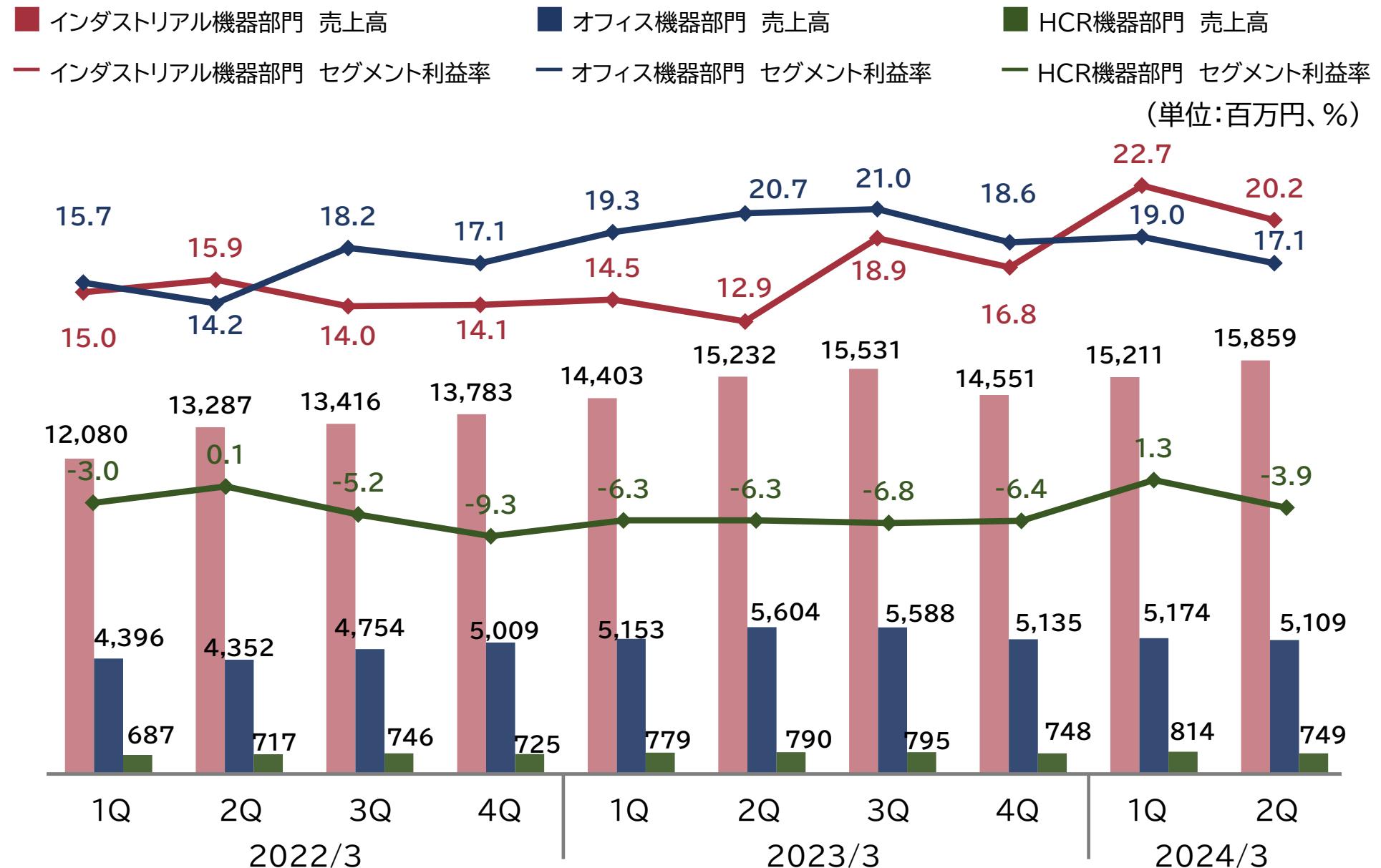
8

(単位:百万円、%)

	当期実績	前期実績	増減率	上期計画※	達成率
<strong>インダストリアル機器部門</strong>					
売上高	31,071	29,636	+4.8	30,720	101.1
セグメント利益	6,656	4,054	+64.2	6,230	106.8
セグメント利益率	21.4	13.7		20.3	
<strong>オフィス機器部門</strong>					
売上高	10,284	10,758	△4.4	10,500	97.9
セグメント利益	1,859	2,155	△13.8	1,940	95.8
セグメント利益率	18.1	20.0		18.5	
<strong>HCR機器部門</strong>					
売上高	1,564	1,569	△0.3	1,630	96.0
セグメント利益	△ 19	△ 98	—	20	—
セグメント利益率	△ 1.2	△ 6.3		1.2	
<strong>調整額</strong>	△ 1,846	△ 1,674	—	△1,940	—
<strong>全社計</strong>					
売上高	42,920	41,963	+2.3	42,850	100.2
営業利益	6,649	4,436	+49.9	6,250	106.4
営業利益率	15.5	10.6		14.6	

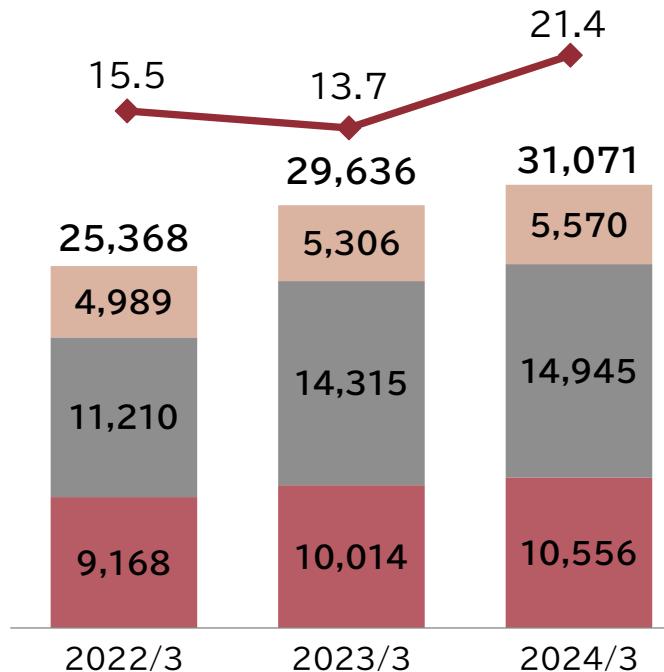
※2023年7月31日修正計画

# 四半期別セグメント実績推移



■ 国内機工品事業  
■ 海外機工品事業  
■ 住環境機器事業  
— セグメント利益率

(単位:百万円、%)



鉄筋結束機「ツインタイア」



浴室暖房換気乾燥機  
「ドライファン」

## 国内機工品事業

▶ 主力のエアコンプレッサの販売が好調に推移しました。また、コンクリート着工床面積の減少の影響などにより鉄筋結束機「ツインタイア」の機械の販売が鈍化したものの、累計稼働台数の増加により消耗品は堅調に推移しました。

## 海外機工品事業

▶ 北米では非住宅市場に対する建設支出の堅調な推移とプロモーションの実施などにより、鉄筋結束機「ツインタイア」の機械の販売が伸長しました。一方で、欧州では不透明な景気見通しにより、販売が低迷しました。

## 住環境機器事業

▶ 主力の浴室暖房換気乾燥機「ドライファン」の販売が、注力しているリフォーム・リプレイスのストック市場で伸長しました。

# インダストリアル機器部門 四半期別売上高推移

11

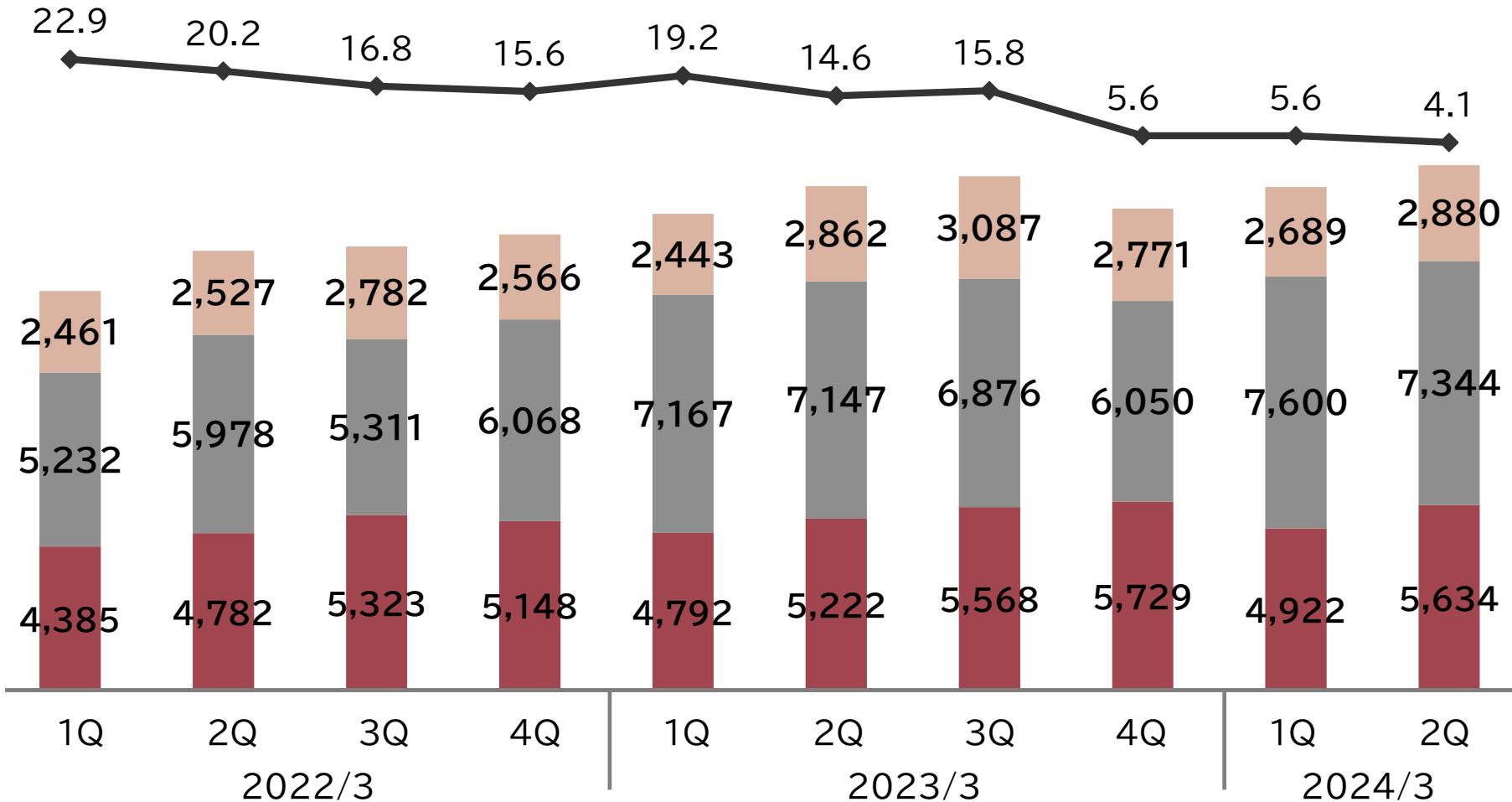
■ 国内機工品事業 売上高

－ インダストリアル機器部門 売上高前年同期比伸率

■ 海外機工品事業 売上高

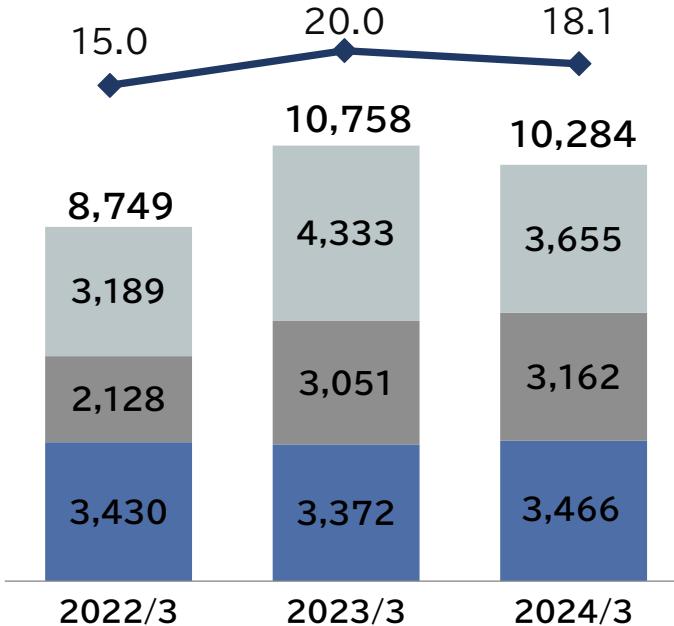
■ 住環境機器事業売上高

(単位:百万円、%)



■ 国内オフィス事業  
■ 海外オフィス事業  
■ オートステープラ事業

(単位:百万円、%)



表示作成機「ビー・ポップ」



チューブマーク「レタツイン」



## 国内オフィス事業

- ▶ 前年同期に発生していた電子部品不足の解消により、チューブマーク「レタツイン」を中心として、文字表示機器の販売が堅調に推移しました。

## 海外オフィス事業

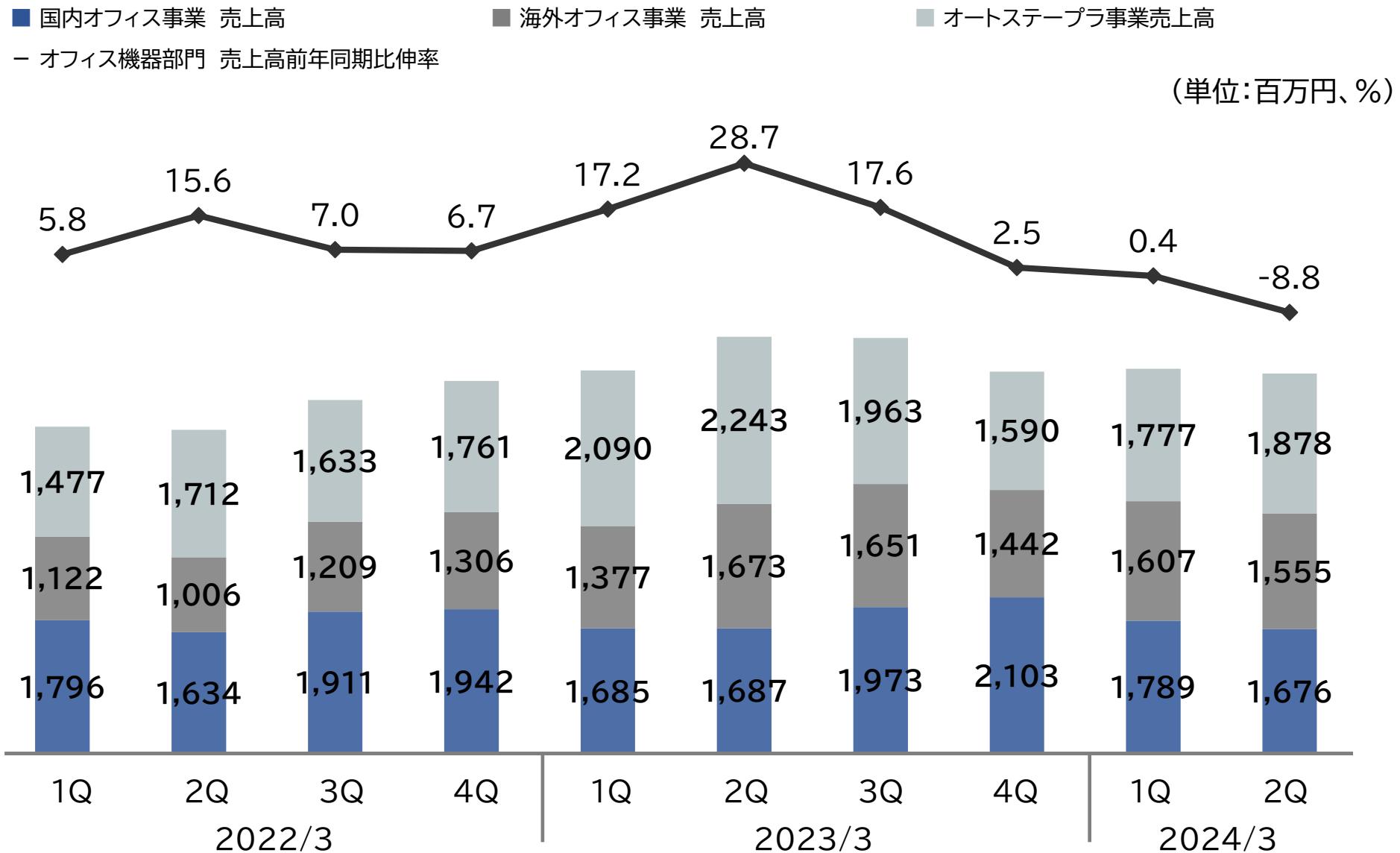
- ▶ 取引先での在庫調整の影響で文具関連製品の販売が減少しましたが、欧州における展示会の出展増による見込み物件の獲得や対面デモの強化などにより、表示作成機「ビー・ポップ」の販売が堅調に推移しました。

## オートステープラ事業

- ▶ 取引先からの受注停滞の継続により、機械と消耗品の販売がともに減少しました。

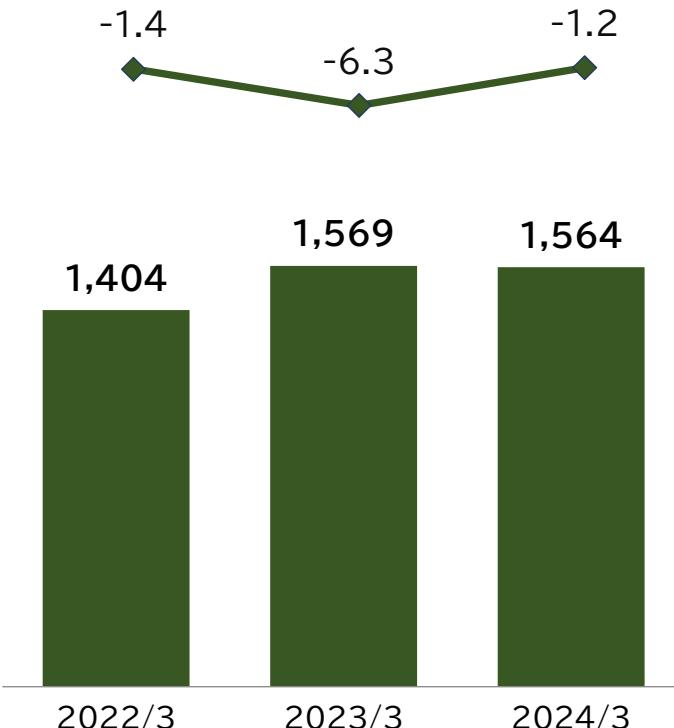
# オフィス機器部門 四半期別売上高推移

13



■ HCR機器部門売上高 └ セグメント利益率

(単位:百万円、%)



機能性車いす  
「ウェイビットループラス」

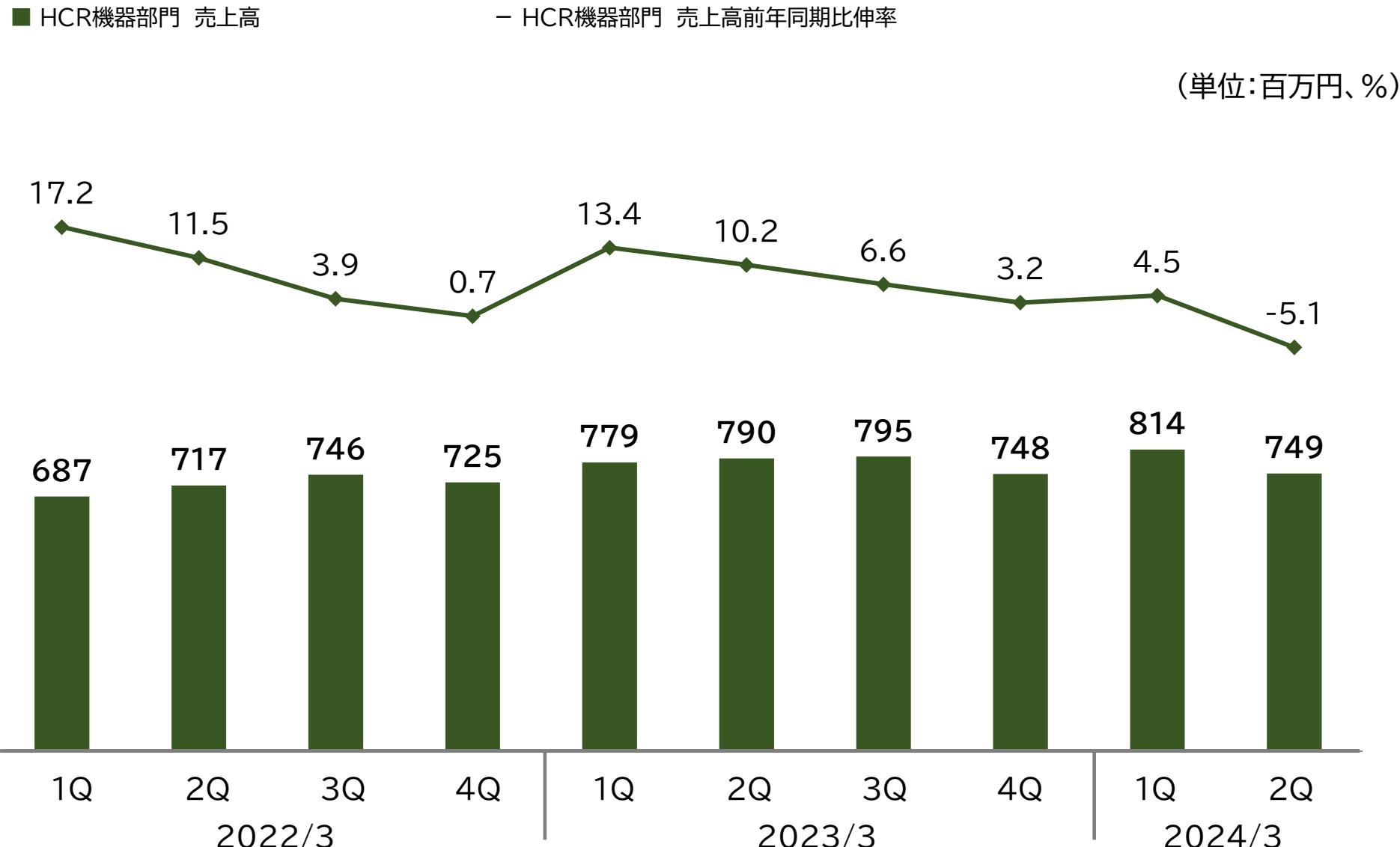


多機能車いす  
「モダンシリーズ」

HCR機器部門 ▶ レンタル需要の減少など取引先からの受注が鈍化したことにより減収となりました。

# HCR機器部門 四半期別売上高推移

15

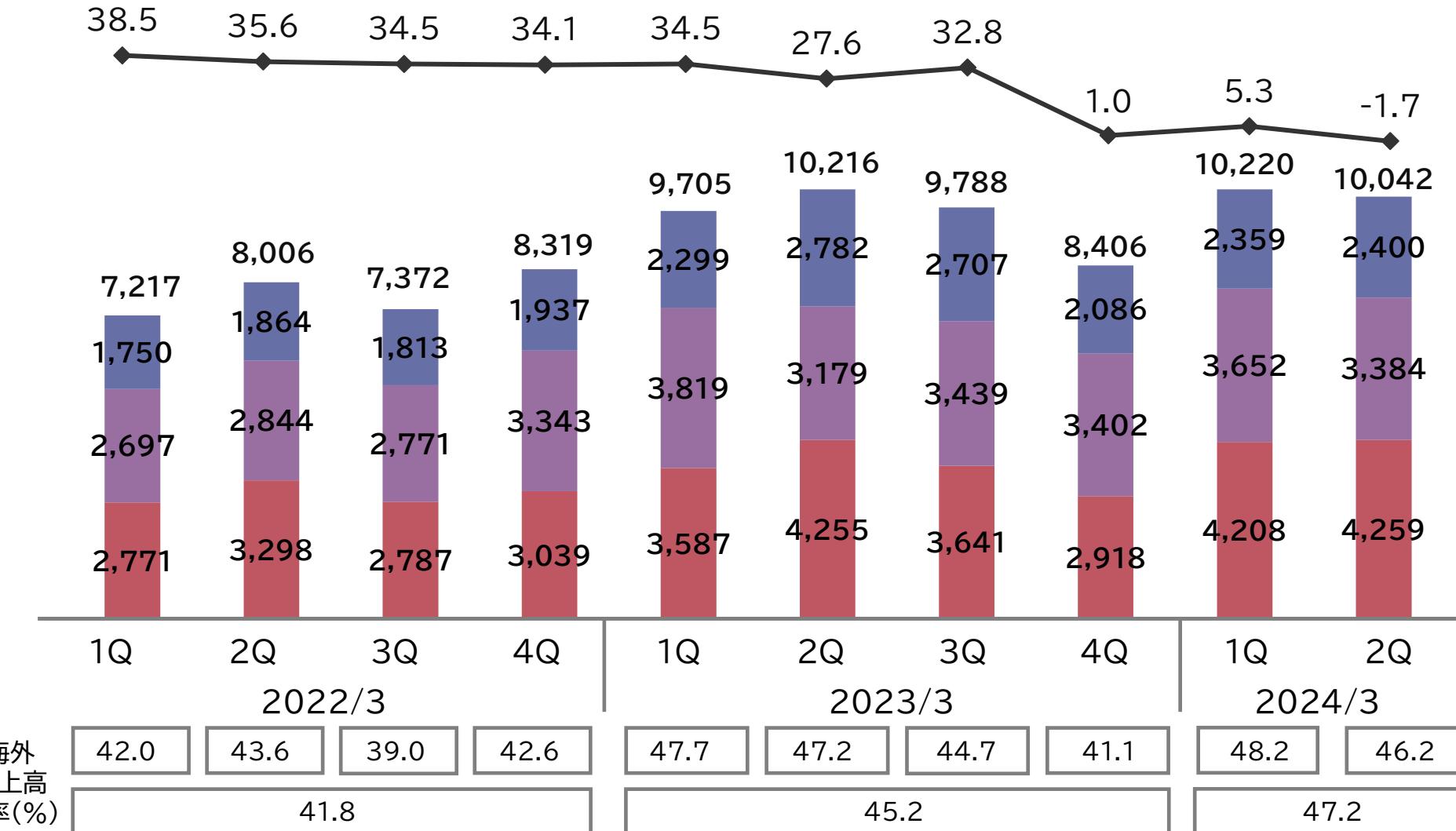


# 四半期別海外地域別売上高推移

16

■ 北米 売上高      ■ 欧州 売上高  
 ■ アジア 売上高      — 海外売上高合計 前年同期比伸率

(単位:百万円、%)



## 鉄筋結束機事業を中心コンクリート構造物向け工具の販売は堅調に推移

- ・国内・海外コンクリート構造物向け工具売上 **154億円** (前年+6.7%の伸長)(計画に対する進捗率**49.7%**)
- ・コンクリートディーラー数 2021年3月期末比 **+56.2%増**

## 機械の累計稼働台数の増加にともない消耗品のタイワイヤが堅調に推移

<海外>



[北米]

- ・非住宅市場に対する建設投資が引き続き堅調であることやプロモーションの実施などにより、機械の販売が伸長。消耗品は、前年第2四半期のバックオーダー解消の影響で数量はやや減少したものの、高い水準を維持。

[欧州]

- 
- ・不透明な景気見通しなどから住宅市況が悪化し、ドイツやスウェーデンなど一部地域で販売が低迷。今後も厳しい環境が続く見込み。

[欧米共通]

- ・商業ビルや橋梁、高速道路など、堅調な非住宅市場へのアプローチ強化を継続。

<国内>



- ・コンクリート着工床面積の減少の影響を受けて、機械の販売が減少したものの、累計稼働台数の増加により消耗品は堅調に推移。スラブや壁、柱など用途別に、生産性向上を切り口とした提案活動を引き続き推進。

# 2024年3月期 業績予想

■想定為替レート(3Q以降)

(単位:百万円、%)

1ドル 140.00円  
1ユーロ 150.00円

	今回計画 (2023/10/31)	前回計画 (2023/7/31)	差額	前期実績	増減率
売上高	87,000	87,800	△800	84,316	+3.2
営業利益 同率	12,300 14.1	12,000 13.7	300	9,926 11.8	+23.9
経常利益 同率	12,500 14.4	11,960 13.6	540	10,510 12.5	+18.9
親会社株主に帰属する当期純利益 同率	9,380 10.8	8,500 9.7	880	7,619 9.0	+23.1
1株当たり当期純利益(円)	199.53	179.57		161.07	
ROE	10.1	9.2	0.9P	8.9	

- 利益面において、業績の堅調な推移に加えて、国内事業の収益改善や想定為替レートの変更などにより、予想値を上回る見込みとなりました。売上高は、欧州でのコンクリート構造物向け工具の販売停滞が継続していることから、予想値を下回る見込みとなりました。

# 2024年3月期 セグメント計画

19

(単位:百万円、%)

	今回計画 (2023/10/31)	前回計画 (2023/7/31)	差額	前期実績	増減率
<strong>インダストリアル機器部門</strong>					
売上高	62,500	62,780	△280	59,719	+4.7
セグメント利益	12,650	11,940	710	9,433	+34.1
セグメント利益率	20.2	19.0		15.8	
<strong>オフィス機器部門</strong>					
売上高	21,320	21,720	△400	21,482	△0.8
セグメント利益	3,950	4,030	△80	4,287	△7.9
セグメント利益率	18.5	18.6		20.0	
<strong>HCR機器部門</strong>					
売上高	3,180	3,300	△120	3,113	+2.1
セグメント利益	0	80	△80	△201	-
セグメント利益率	0.0	2.4		△6.5	
<strong>調整額</strong>	△4,300	△4,050	△250	△3,594	
<strong>全社計</strong>					
売上高	87,000	87,800	△800	84,316	+3.2
営業利益	12,300	12,000	300	9,926	+23.9
売上高営業利益率	14.1	13.7		11.8	

# 2024年3月期 サブセグメント(事業別)計画

20

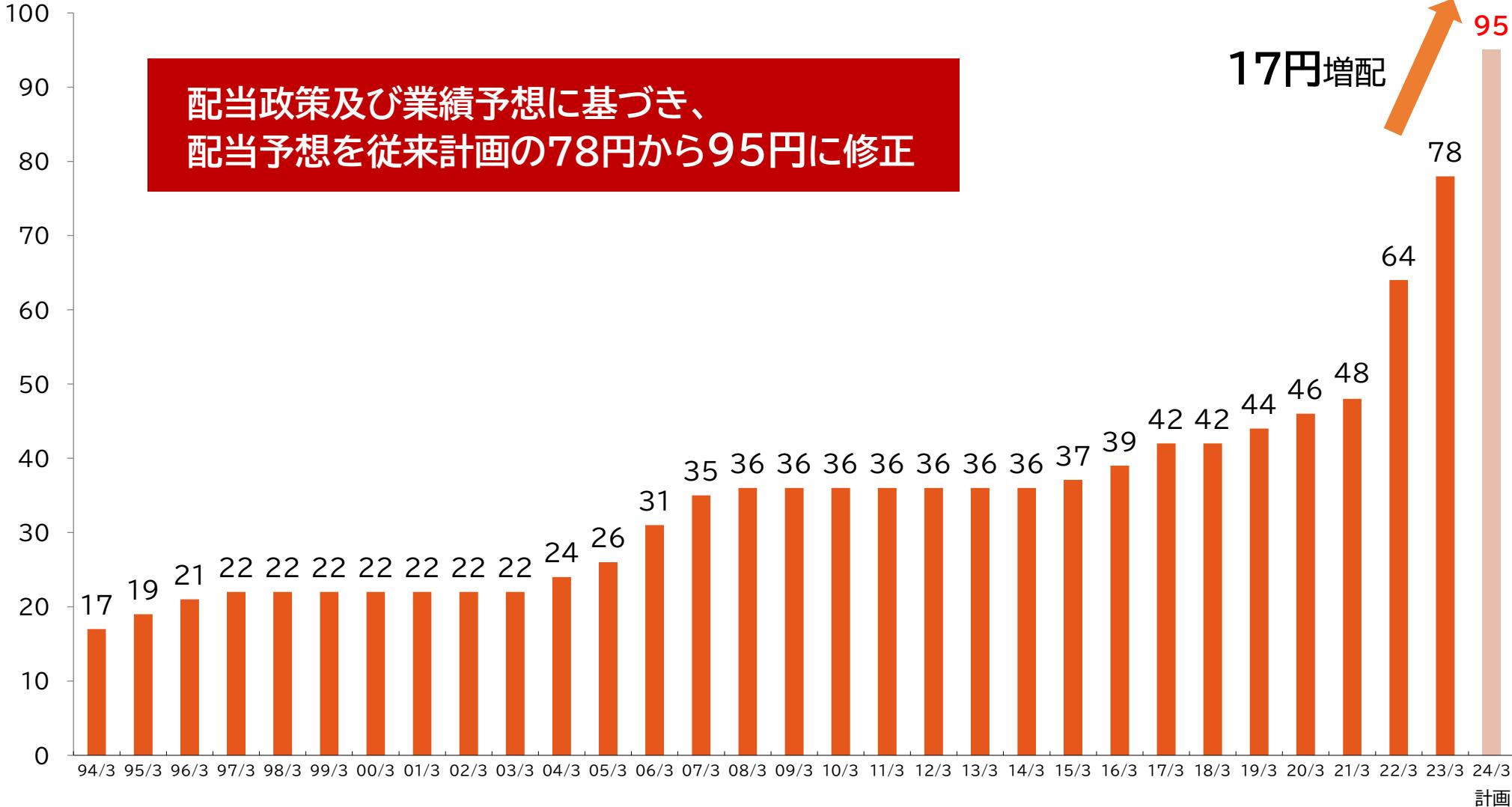
(単位:百万円、%)

	今回計画 (2023/10/31)	前期実績	増減率
インダストリアル機器部門			
セグメント売上高	62,500	59,719	+4.7
国内機工品	21,800	21,312	+2.3
海外機工品	29,070	27,241	+6.7
住環境機器	11,630	11,165	+4.2
セグメント利益	12,650	9,433	+34.1
セグメント利益率	20.2	15.8	

	今回計画 (2023/10/31)	前期実績	増減率
オフィス機器部門			
セグメント売上高	21,320	21,482	△0.8
国内オフィス	7,690	7,450	+3.2
海外オフィス	6,220	6,145	+1.2
オートステープラ	7,410	7,887	△6.0
セグメント利益	3,950	4,287	△7.9
セグメント利益率	18.5	20.0	

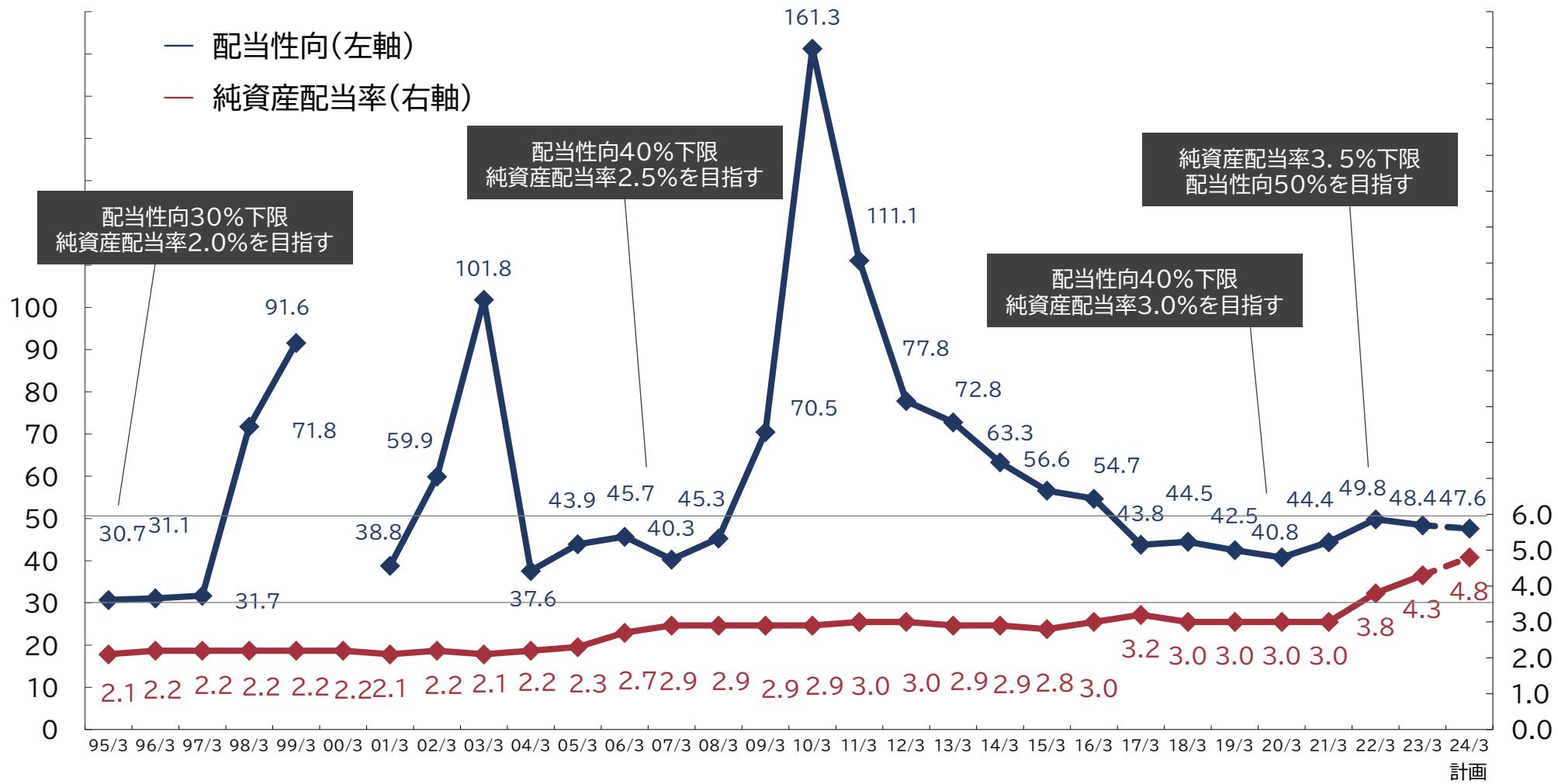
連結決算を基準に「純資産配当率3.5%下限、配当性向50%目標」

(単位:円)



# 配当政策 配当性向と純資産配当率

(単位:%)



※2005年3月期までは単独ベースです。

## 統合報告書2023を発行しました

ステークホルダーの皆さんに当社グループに対する理解をより深めていただくため、統合報告書2023を発行しました。

今回は、トップメッセージや成長の柱となっている鉄筋結束機事業、会社の持続的な成長を支える原動力である「人」に焦点を当てた特集などを掲載しています。

「統合報告書2023」は当社WEBサイトをご覧ください。

<https://www.max-ltd.co.jp/about/ir/data/integrated/>

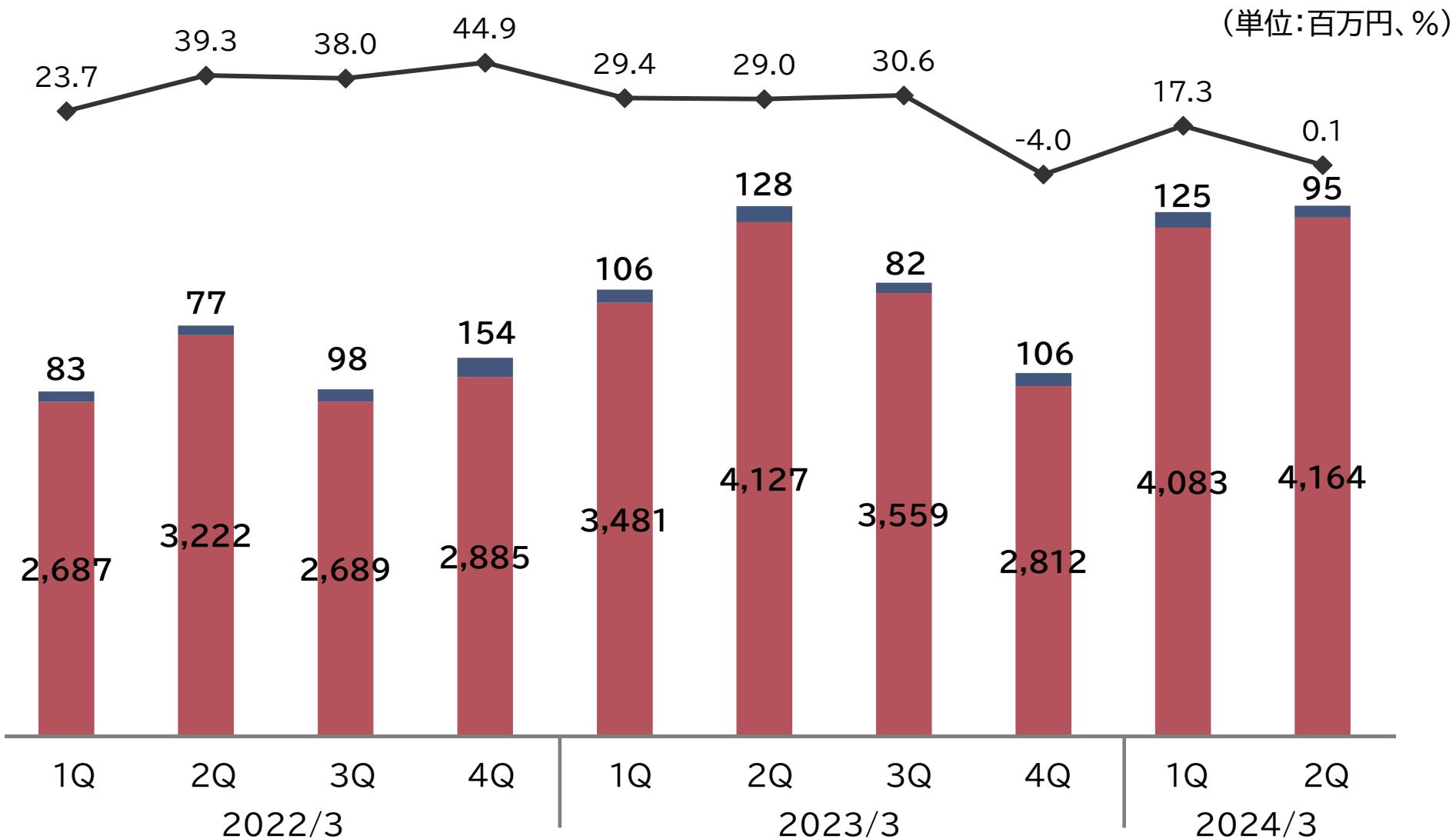


# 參考資料

# 四半期別海外地域別セグメント売上高推移(北米)

24

■ インダストリアル機器部門 売上高 ■ オフィス機器部門 売上高 — 北米売上高前年同期比伸率

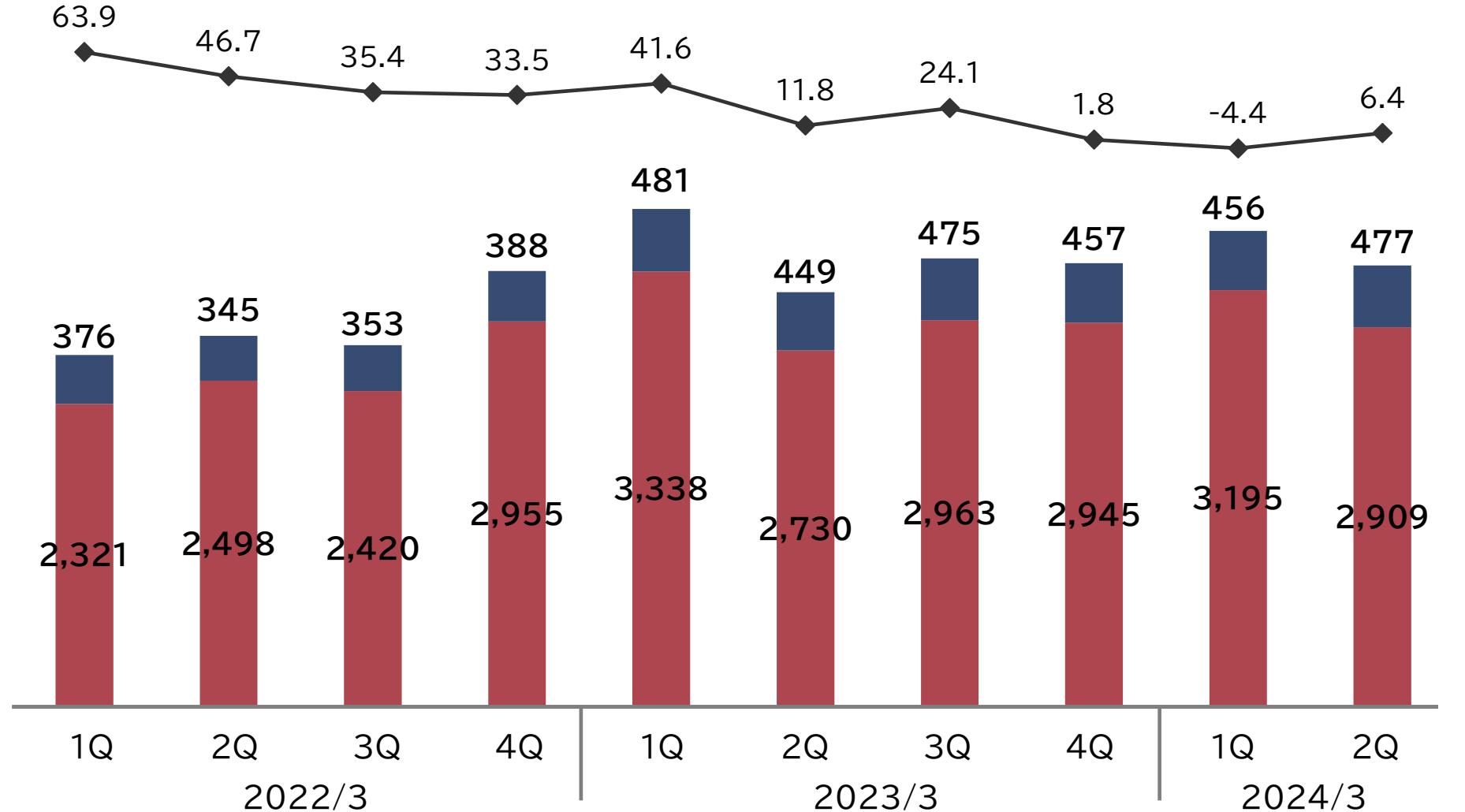


# 四半期別海外地域別セグメント売上高推移(欧州)

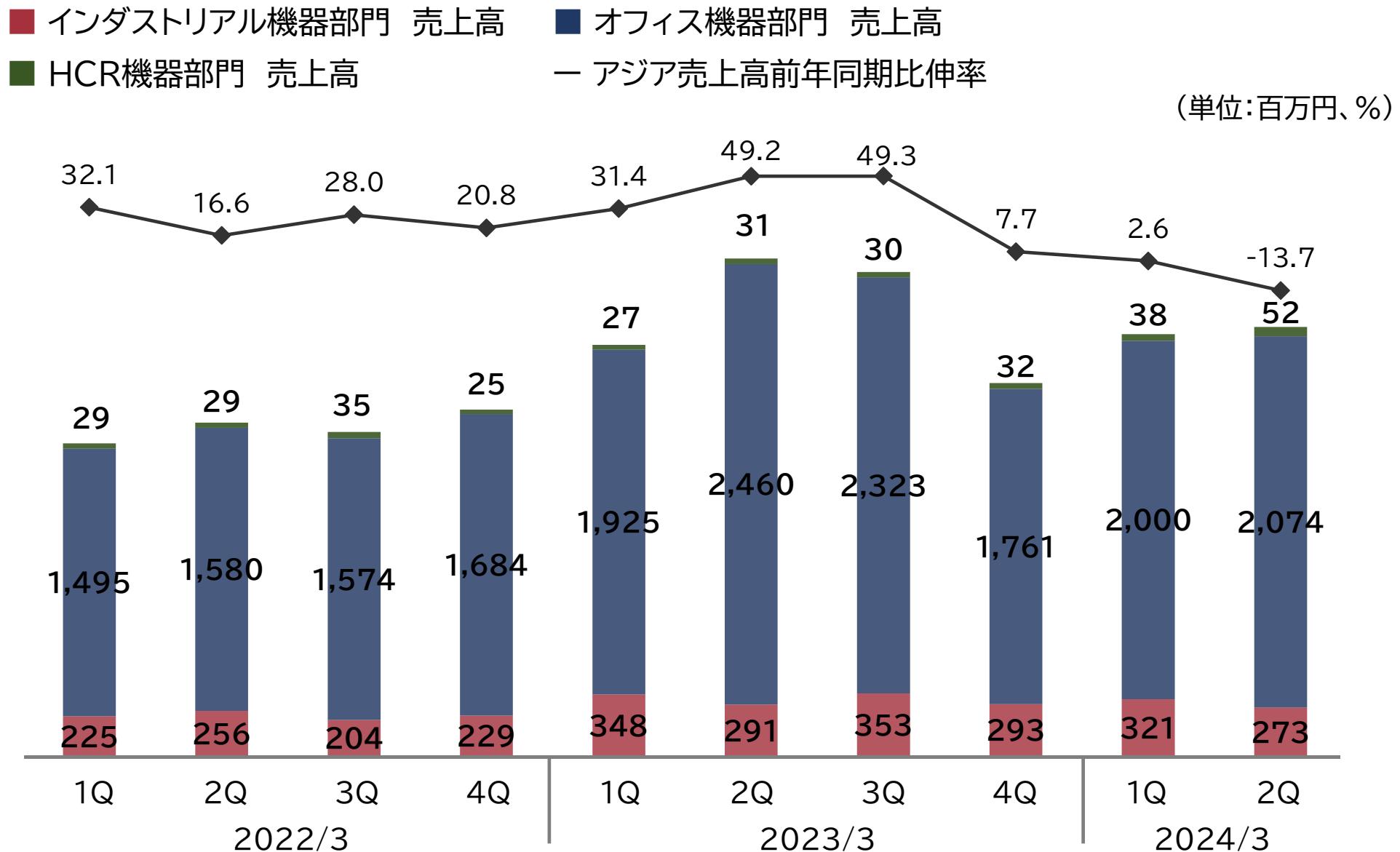
25

■ インダストリアル機器部門 売上高 ■ オフィス機器部門 売上高 — 欧州売上高前年同期比伸率

(単位:百万円、%)



# 四半期別海外地域別セグメント売上高推移(日本除くアジア) 26



## 機工品事業

### 木造建築物向け工具

釘打機



エアコンプレッサ



充電工具



### コンクリート構造物向け工具

鉄筋結束機  
「ツインタイア」



コンクリートネイラ



ガスネイラ



### AF(農業・食品)

園芸用誘引結束機



袋とじ機



## オフィス事業

### 文具関連製品

ホッチキス



パンチ



スタンプ他



### 文字表示機器

表示作成機  
「ビーポップ」



チューブマーカー  
「レタツイン」



食品表示用  
ラベルプリンタ



### その他

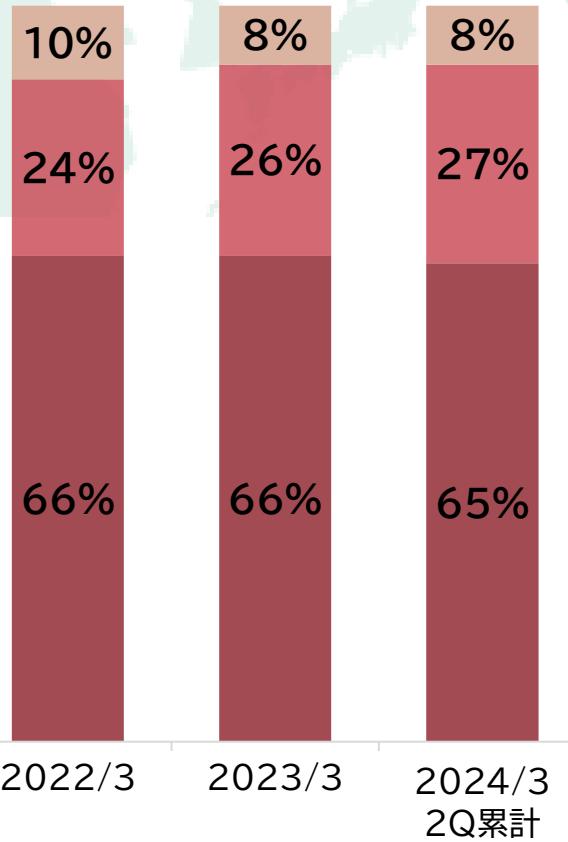
タイムレコーダー



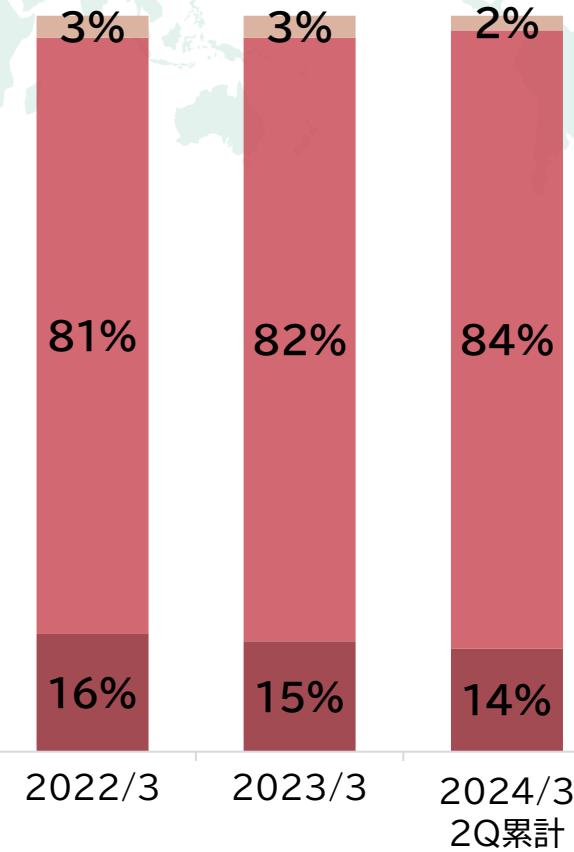
筆耕



国内機工品事業  
製品内訳

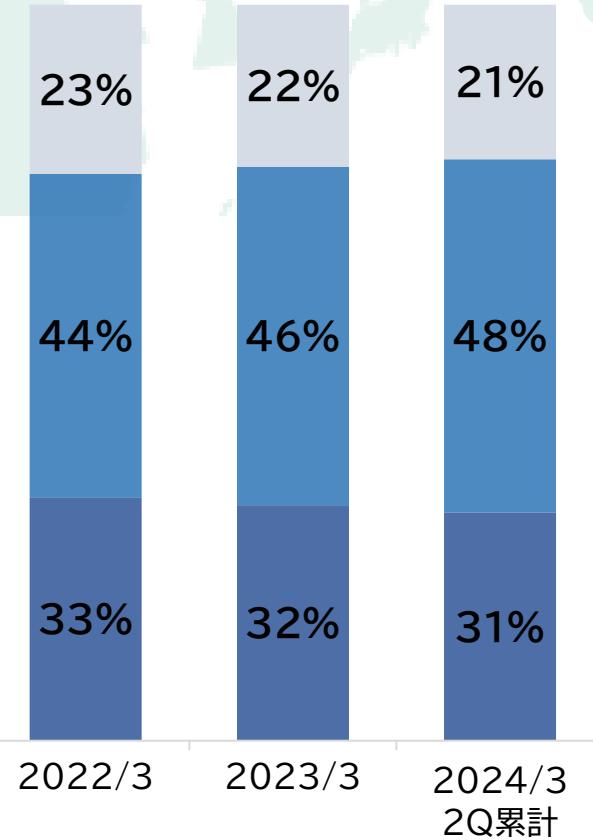


海外機工品事業  
製品内訳

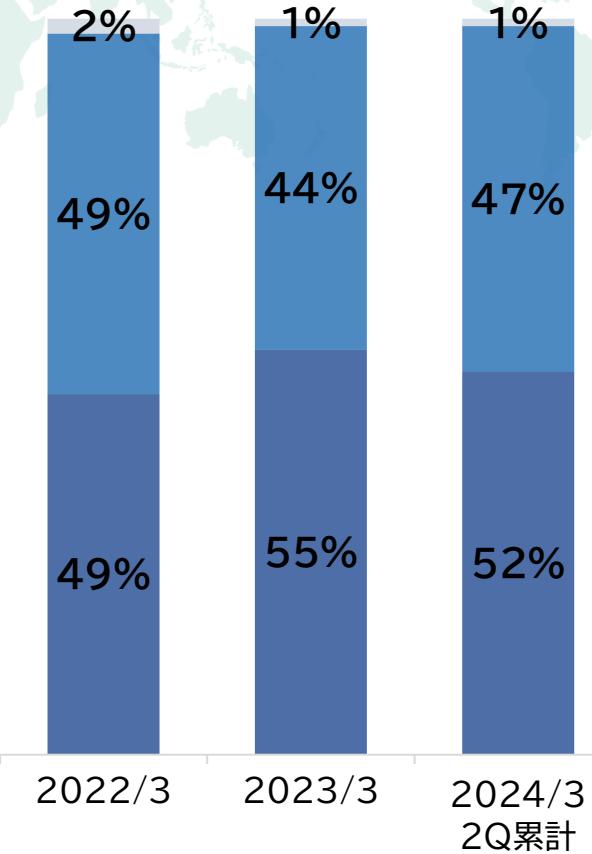


- AF(農業・食品)
- コンクリート構造物向け工具
- 木造建築物向け工具

国内オフィス事業  
製品内訳



海外オフィス事業  
製品内訳



その他  
■ 文字表示機器  
■ 文具関連製品



本資料に記載されている内容は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成されたものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がございます。予めご承知おきください。